

総合的に取り組む重点課題 4 所沢ブランドの推進とまちの活性化

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H29)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	所沢市には、自然や農作物、歴史・文化など様々な魅力があり、これらを「所沢ブランド」として捉えて、ホームページや各種メディアを活用し、情報発信に努めた。	H29年度に改善した点	無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	115千円	85千円	①幹事会	所沢市への定住意向	所沢市への定住意向	H29目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	②											
	所沢ブランド推進事業	事業の具体的な内容及び目的	44千円	7千円	③	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析							
	期間	市内外から「住みたい」、「住み続けたい」思いを育む「誰もが選ぶまち」へのイメージアップを図ると同時に、企業・事業者には「業務の拠点としたい」良好なイメージを提供し、まちの活性化を目指す。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	79.0%	79.5%	目標達成済							
H23年度～		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①1回	H29年度目標	H29実績									
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	既存事業(「音まち推奨制度」、その他イベント等)と新規事業(空飛ぶ音楽祭)を実施しながら、「所沢＝音楽のまち」というブランドを確立していくために、現在力を入れて取り組んではいけるが、目的の達成に向け模索している部分も多いため。	H29年度に改善した点	無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	643千円	414千円	①「音まちコンサート」の実施	「音まち」推奨制度推奨数	H28年度目標	H28実績							
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	②「まちなかコンサート」の実施											
	音楽のあるまちづくり推進事業	文化芸術基本法	744千円	268千円	③	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析							
	期間	事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	100	84	推奨の選定基準の1つである「市内で定期的、継続的に開催している」という部分を精査した上で推奨しているため、実績が伸びにくい。また、「定期的」の基準は、年1度開催に限らず、2年に1度、3年に1度等の音楽行事も含まれており、年によって推奨数の増減幅がある。今後は、近年地元根づきはじめた音楽行事等を探して推奨するとともに、クオリティの維持、向上も図っていく。							
平成25年度～	あらゆる世代の市民や所沢市を訪れる方々に、音楽を演奏する機会、聴く機会を常に身近なものとして定着させ、豊かな音楽文化が持続的に発展できるよう取り組んでいく。プロ、アマを問わず市内音楽団体(個人)の活動を掌握し、情報発信や連携を支援し、音楽を通じた交流や音楽環境の活性化を図る。 ①「音まち」推奨制度・音楽情報サイトが独自に入手した情報等の中から、市が認定する制度。 ②「音まちコンサート」・・・「音まち」事業のPR、市民の気軽な鑑賞の場として実施する庁内コンサート。 ③「まちなかコンサート」・・・若手ミュージシャンの発表の場、まちなかでの音楽鑑賞の場。 ④「音まちMAP」発行等、各種PR事業。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①2回	H29年度目標	H29実績									
文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	2017年に初めての開催で、予算規模・事業規模がなかなか固まらない中、アーティストの選定、チケット販売などうまくいかなかった部分もあったが、結果的には、市内外から集客も多く集まったことから、本市が推進している「音楽のあるまちづくり」の一環事業として、所沢の魅力アピールできたものと考えている。	H29年度に改善した点	無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	275千円	①催事(イベント)の合計数	延べ入場者数	H28年度目標	H28実績							
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	②有料ステージ来場者数											
	「空飛ぶ音楽祭」開催事業	文化芸術基本法、空飛ぶ音楽祭実行委員会補助金交付要綱、空飛ぶ音楽祭アドバイザー設置要綱	3,274千円	3,203千円	③	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析							
	期間	事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	なし	なし	目標達成済							
平成29年度～	本市が推進している「音楽のあるまちづくり」を一層アピールし、今後の活動の核となる事業として、「空飛ぶ音楽祭」を開催し、「所沢＝音楽のまち」というブランドの醸成を目指す。 野外ステージのある「航空記念公園」と所沢市民文化センター「ミュージズ」が隣接して存在するという恵まれた環境を最大限に活かし、クラシックからポピュラーといった幅広い音楽をレパートリーとして、市内外から集まる観客に所沢の魅力をアピールしていきます。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①17	H29年度目標	H29実績									
経営企画課	実施計画ランク	事業の種類別	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	成果指標とした市民全体の認知度の達成度は低いですが、他の事業に比べると市内団体及び組織等からの説明要請は多く、また文化創造会議の参加者数も増加している。今後は、市域全体、市域を超えた広範な周知を図るための情報発信を工夫していく必要がある。	H29年度に改善した点	無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	21,986千円	20,514千円	①各団体等への説明会回数	COOL JAPAN FOREST構想の認知度	H28年度目標	H28実績							
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	②文化創造会議参加者数											
	COOL JAPAN FOREST構想推進事業	特になし	6,338千円	5,839千円	③TEAM START開催回数	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析							
	期間	事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	80%	41.7%	本構想に深い東所沢地域を中心に周知啓発を行ってきたため、市域全体にはまだまだ浸透していないものと思われる。東所沢地域に関しては6割以上の方に認知されてきている。							
H27年度～	株式会社KADOKAWAと協力して文化事業や企業誘致等、産官共同で事業展開を行い、構想に示した「みどり・文化・産業が調和したまち」の実現を目指す。 推進会議「TEAM START」での協議や、構想推進に関する協定を締結するとともに、イベントでのブース出展や文化創造会議の開催等の啓発、情報発信を行うなど、「みどり・文化・産業が調和したまち」の創出に向けた事業を展開する。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①8回	H29年度目標	H29実績									

総合的に取り組む重点課題 4 所沢ブランドの推進とまちの活性化

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H29)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	イタリアオリンピックチームの事前トレーニングキャンプ実施にかかる覚書締結を契機に、同国のホストタウン登録を行うなど、市の活性化に資する取組を進めた。	H29年度に改善した点	無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,125千円	665千円	①小学校向けゴールボール体験会	意識啓発事業数	大会の機運醸成及びパラスポーツへの理解を深めることを事業の目的としているため、啓発事業数を指標としている。								
	根拠法令	-	H29予算現額	H29決算額(見込み)	②市HPコンテンツ数		H28年度目標	H28実績						H29目標値が未達成の理由・分析	
	東京オリンピック・パラリンピック推進事業	事業の具体的な内容及び目的	567千円	461千円	③	H29年度目標	H29実績	目標達成済							
	期間	2020東京オリンピック・パラリンピックをきっかけとして、様々なスポーツや他国の文化に触れながら、障害のあるなしにかかわらずスポーツを楽しめるまちづくりをめざし、啓発事業の企画・運営、スポーツ体験会の開催、スポーツ選手の応援、情報発信、キャンプ地等の誘致を進める。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績								
	H26年度～H32年度		0.70人	非常勤特別職	①4校	10回	15回								
		6,003千円	臨時職員	②11ページ	10回	10回									
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	③	10回										
		0.81人	非常勤特別職		10回										
		6,873千円	臨時職員												
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	これまでのアンケート結果を踏まえ、参加者の交流時間を拡充させたことで、カップル成立率及び満足率の高いイベントの実施ができた。	H29年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	40千円	15千円	①イベント実施回数	イベントの満足率	参加者同士の交流機会創出及び市の魅力PRを目的としている事業のため、イベントの満足率を指標としている。なお、満足率はアンケートでイベントが「よかった」「まあよかった」と回答した割合である。								
	根拠法令	-	H29予算現額	H29決算額(見込み)	②参加人数		H28年度目標	H28実績						H29目標値が未達成の理由・分析	
	婚活推進事業	事業の具体的な内容及び目的	40千円	5千円	③カップル成立数	H29年度目標	H29実績	目標達成済							
	期間	独身男女に出会いの場を提供しながら、地域の活性化を図るとともに市の魅力のPRを行う。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績								
	H23年度～		0.36人	非常勤特別職	①1回	90.0%	99.0%								
		3,087千円	臨時職員	②33人	90.0%	100.0%									
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	③5組	90.0%										
		0.10人	非常勤特別職		90.0%										
		849千円	臨時職員												
経営企画課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	戦略方針に掲げる「所沢市への定住意向率」や「市の愛着度」については前年度よりも向上している一方、「30～40歳代の転出入均衡」については、特に30～35歳が転出超過となっており、働く世代をターゲットとした取り組みの一層の充実が必要である。	H29年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	268千円	305千円	①「所沢市総合戦略」の戦略方針の実施事業数	4つの戦略方針に掲げる戦略指標の達成率(7指標の平均値)	戦略に基づく各施策の進捗を図る「重要業績評価指標(KPI)」を設定したうえで、効果の客観的視点として「戦略指標」を戦略方針ごとに設定。総合戦略はH31年度までを計画期間とし、H31年度における達成率100%を目指すものである。								
	根拠法令	-	H29予算現額	H29決算額(見込み)	②「所沢市総合戦略」の重点プロジェクトに関連する事業数		H28年度目標	H28実績						H29目標値が未達成の理由・分析	
	地方版総合戦略推進事業	事業の目的及び具体的な内容	360千円	32千円	③市民ワークショップ参加者数	H29年度目標	H29実績	数値が明確な指標のうち、達成率が特に低かったのが「30～40歳代の転出入均衡」だった。理由は不明である。							
	期間	「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき4つの戦略方針を定めるとともに特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」として設定し、優先的に実行する。また、戦略に基づく取組を効果的に推進するため、基本目標や重要業績評価指標(KPI)の達成度や事業の進捗状況を確認し、効果検証を行いながら進行管理する。	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績								
	H27年度～		0.50人	非常勤特別職	①189件	85%	81%								
		4,288千円	臨時職員	②27件	90%	84%									
		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	③23名	95%										
		0.44人	非常勤特別職												
		3,733千円	臨時職員												